

田村のつぶやき 第5号

2023.6.5発行

文責：島根県立江津高等学校長 田村康雄

先輩からのメッセージ

今年3月に卒業した先輩たちが、高校3年間で振り返って、「これをやっておいたから良かった」「こうしておけば良かった」という思い、継続してきたことや毎日の心がけなどを、後輩へのメッセージとして残してくれました。その中から何人かの先輩たちのメッセージを紹介します。受験を経験した先輩たちの「生」の声ですから、説得力があると思います。ぜひ参考にしてください。

(一部抜粋、表現を改めた箇所があります)

- 毎日の授業と家庭学習を継続することが大切。(多数)
- 勉強、部活動、自由時間など、メリハリをつけることが大切。
- 授業でわからないがあつたら先生や友達に質問して理解することができた。
- 模擬試験の復習は必ずやるとよい。
- 早い段階で、自分が受験する企業や学校を決めておくと、余裕を持って受験に向けての準備ができる。
- 部活動を一生懸命取り組んだから、自分の強みを伸ばすことができた。面接試験で自己アピールができた。
- 地域イベントへの参加は、地域の方と交流でき、志望理由書のネタにもなった。
- 生徒会活動やボランティア活動に参加したことは良かった。自分を見つめ直すことができた。自信にもつながった。
- 自分なりのリラックス方法を見つけておくと、試験本番の日も休憩時間にそれを行い、緊張せずに受験できた。

- 試験前だけでなく、毎日勉強する習慣を身につけておくべきだった。(多数)
- 定期試験をしっかり集中して取り組んでおけば良かった。
- 1年生の時から苦手科目克服のために勉強しておけば良かった。3年生になってからは、時間が足りなかった。
- 毎日の課題や提出物は、必ず期限内に提出しておくべきだった。時々期限を過ぎてしまうことがあった。
- ボランティアに1年の時から積極的に参加しておけば良かった。ボランティアは自分の興味や考えを広げることができる活動ということを2年から参加して実感した。
- 早いうちに進路について考えておいて目標を作っておけば良かった。